

根来寺坊院跡KM地区

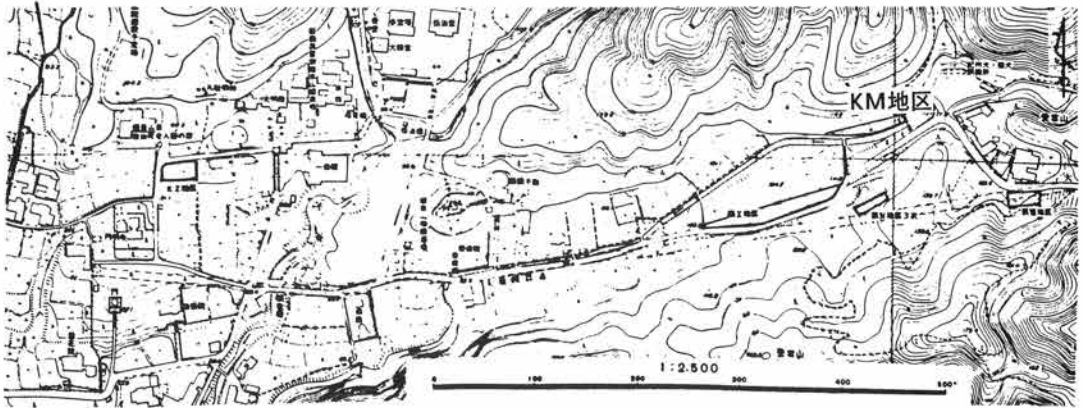
発掘調査概報

1980

和歌山県教育委員会

例 言

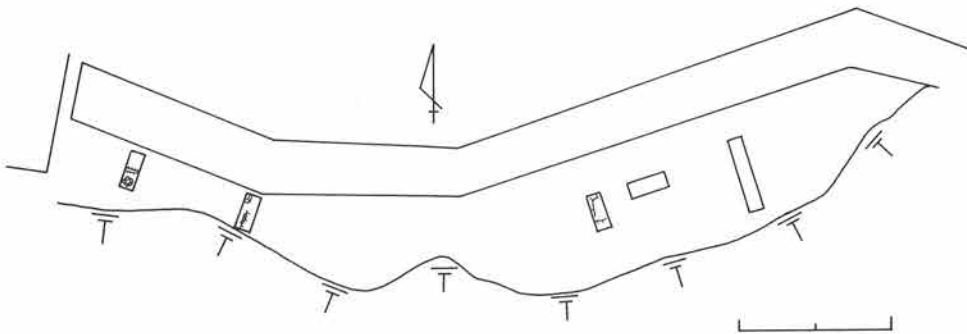
1. 本概報はツユクシ産業社員住宅建設工事に伴う第1次確認調査の概報である。
2. 発掘調査は社団法人和歌山県文化財研究会に委託して行なわれた。
3. 発掘調査は文化財課技師上田秀夫が担当した。
4. 概報の作成には主として大阪経済大学北野隆亮があたり、上田が編集した。



第1図 遺跡の位置



第2図 調査区全景



第3図 トレンチ設定図

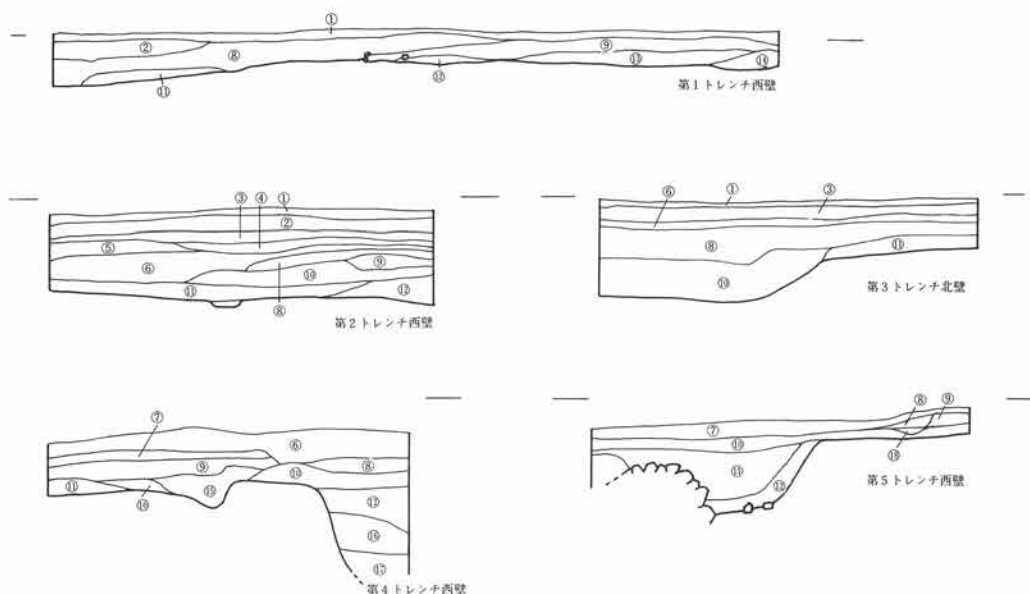
調査の概要

地形図に見る様にトレンチ5本を設定し、遺構の有無、範囲を確認した。各層位は地層図の通りであるが焼土面、黒褐色土からが室町時代の面である。焼土層及び遺構は第2・第4第5トレンチに認められ、第1・第3トレンチでは近世の遺物に混じって中世の遺物が出土するものの室町時代の焼土層・遺構は検出されていない。

第2トレンチでは基壇状の地山整形のコーナーとその側溝に落ち込んだ焼土層を確認し、焼土内より中国製の白磁皿片、染付鉢片、褐釉陶器片などが出土した。

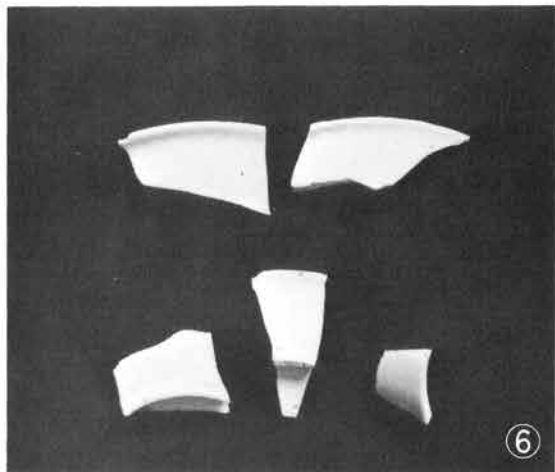
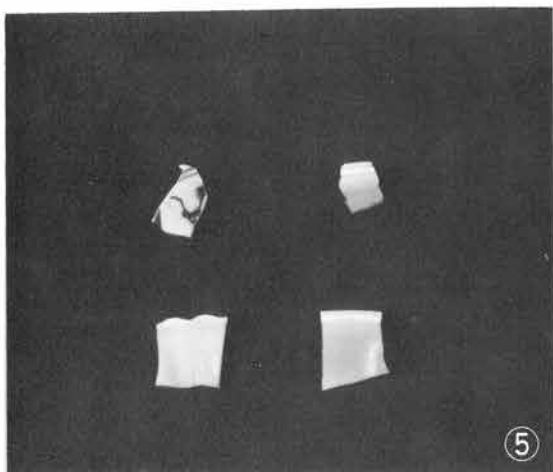
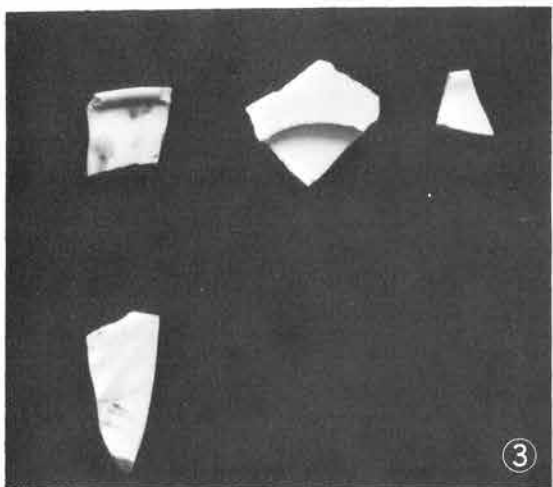
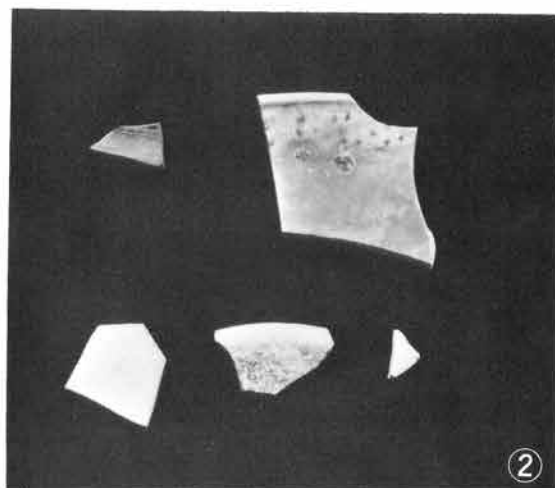
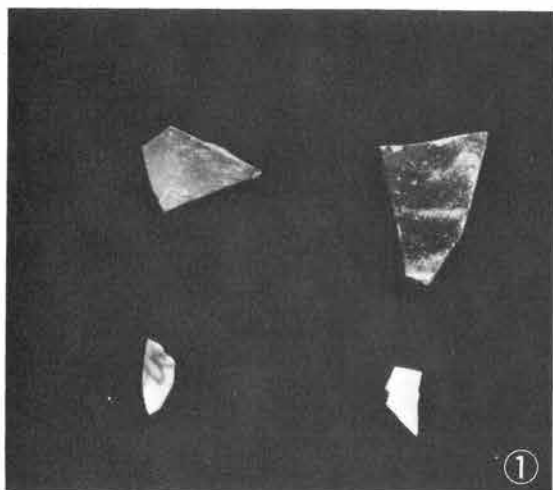
第4トレンチでは焼土の落ち込んだ深さ約1メートルの土坑を検出し、焼土内より中国製の白磁皿片などが出土した。

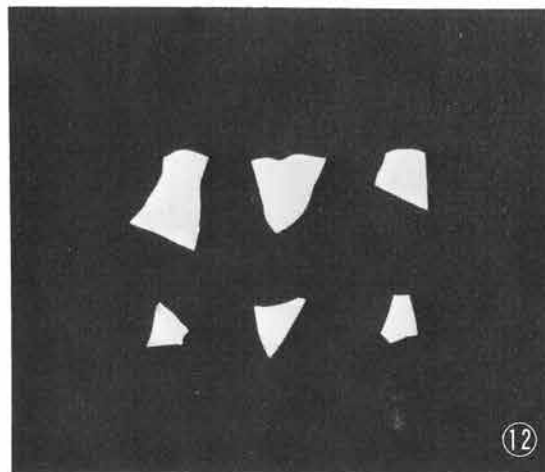
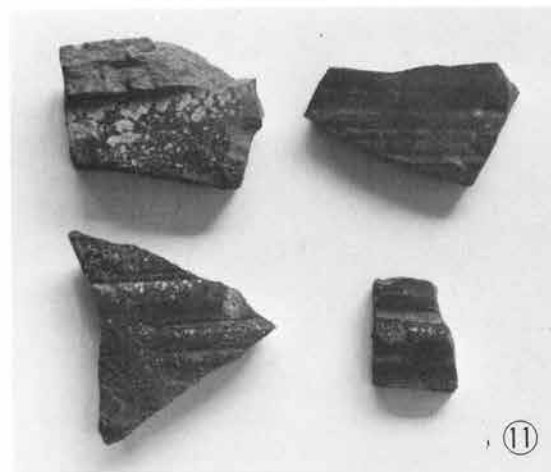
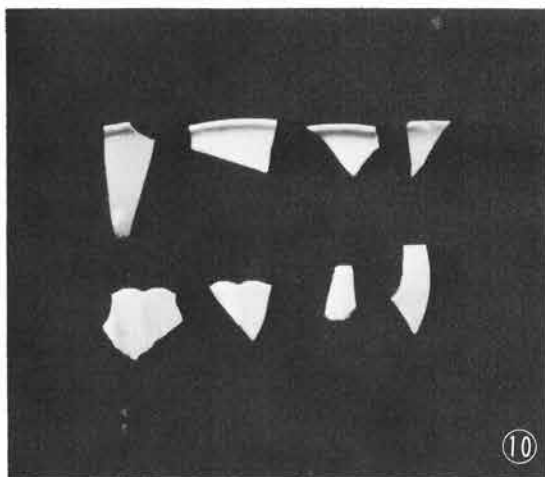
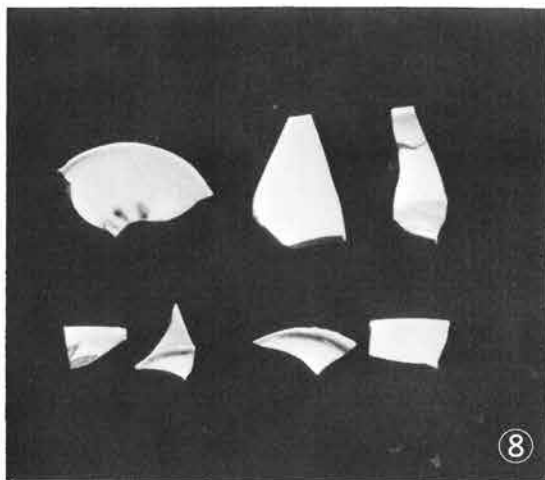
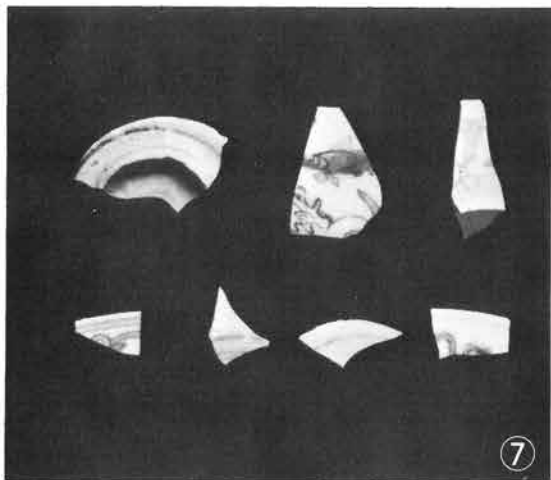
以上から遺構の残存する範囲はおよそ調査区西端から第2トレンチ付近までと思われる。



第4図 各トレンチの土層

- | | |
|-----------|------------|
| 1 黄褐色砂質土 | 10 黒茶褐色砂質土 |
| 2 灰褐色砂質土 | 11 黄茶褐色粘質土 |
| 3 黒茶褐色砂質土 | 12 焼土 |
| 4 明黄褐色砂質土 | 13 黄茶褐色砂質土 |
| 5 灰茶褐色砂質土 | 14 暗茶褐色砂礫土 |
| 6 茶褐色砂礫土 | 15 灰茶褐色砂礫土 |
| 7 黒褐色砂質土 | 16 炭層 |
| 8 黄茶褐色砂礫土 | 17 灰色粘土 |
| 9 茶褐色砂質土 | 18 暗茶褐色砂礫土 |





- ① 第1トレンチ茶褐色土出土 中国製黒釉陶器片、白磁片、染付片
- ② 第2トレンチ焼土内出土 中国製褐釉陶器片、白磁片、染付片
- ③ 第3トレンチ黄褐色土出土 中国製白磁片、染付片、伊万里染付片
- ④ 第3トレンチ茶褐色土出土 備前焼摺鉢片
- ⑤ 第4トレンチ茶褐色土出土 中国製白磁片、染付片
- ⑥ 第4トレンチ土壇内焼土出土 中国製白磁片
- ⑦⑧ 第4トレンチ土壇内焼土出土 中国製染付片
- ⑨ 第5トレンチ黄褐色土出土 軒丸瓦
- ⑩ ♪ ♪ 中国製白磁片
- ⑪ 第5トレンチ黒褐色土出土 備前焼甕片
- ⑫ ♪ 焼土出土 中国製白磁片

昭和55年 3 月31日発行
根来寺坊院跡KM地区
発掘調査概報

発行 和歌山県教育委員会
和歌山市小松原通り1の1

印刷 邦 上 印 刷
和歌山市黒田108-5